令和8年11月17日

ふくい街角景気速報

（令和８年１０月分）

調査期間　令和８年１０月２０日～１０月２７日　（回答率：９０%）

概　況

景気の現状判断ＤＩは４８．６となり、前月と比べ２．２ポイント上昇した。

景気の先行き判断ＤＩは４７．８となり、前月と比べ３．４ポイント上昇した。

■景気の現状判断DI　　48．6　　（前月比　　2．2　　）

〇家計動向関連では、前月に比べ　１．７ ポイント　上昇した。
〇企業動向関連では、前月に比べ　２．３ ポイント　上昇した。
〇雇用関連では、　　前月に比べ　４．５ ポイント　上昇した。

（意見の主な内容）

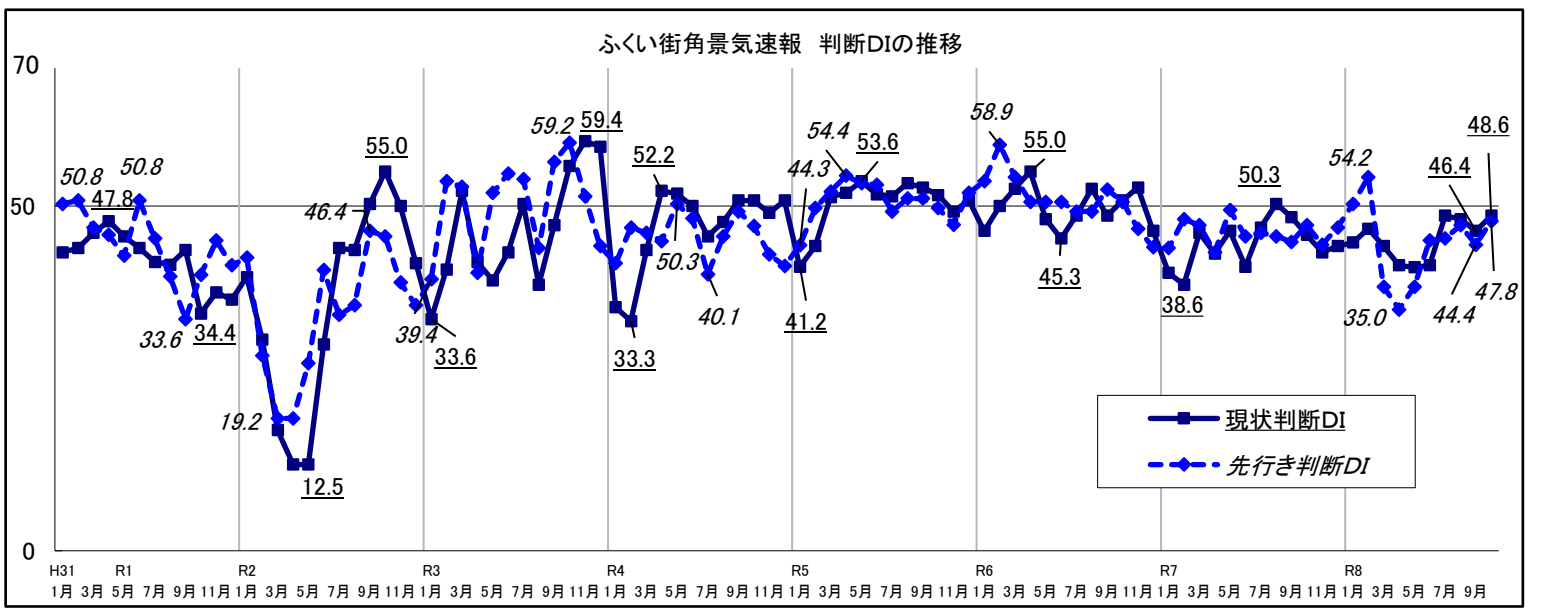
〇衣料品の動きが活発化しており、バッグ、靴、アクセサリーなど服飾雑貨の販売も好調である。
　また、気温の低下に伴い寝具関連商品の需要も増加している。（百貨店、SC等）
〇北米向けを中心に、商談・受注は高水準を維持している。（一般機械関連）
〇灯油の供給不足により販売へ影響が生じている。（商社）

■景気の先行き判断DI　　47．8　　（前月比　　3．4　　）

〇家計動向関連では、前月に比べ　３．３ ポイント　上昇した。
〇企業動向関連では、前月に比べ　３．０ ポイント　上昇した。
〇雇用関連では、　　前月に比べ　４．６ ポイント　上昇した。

（意見の主な内容）

〇年末商戦に向けた販促イベントの実施により、消費喚起が期待される。（商店街）
〇越前ガニ解禁による集客効果を期待している。（飲食関連）
〇原材料価格の上昇が続く一方、価格転嫁が進まず収益を圧迫している。（眼鏡関連）



＜目次＞

調査の概要			１Ｐ
１．景気の現状判断ＤＩ			２Ｐ
２．景気の先行き判断ＤＩ			２Ｐ
３．判断理由	（１）景気の現状判断の理由		３Ｐ
	（２）景気の先行き判断の理由		４Ｐ
４．参考	（１）調査対象の構成		５Ｐ
	（２）調査票		６Ｐ

福　井　県

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

（1）調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

（2）調査事項

① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

（3）調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比（%）を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
悪くなっている　変わらない　良くなっている

1．景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

（DI）	年	R8						
	月	5	6	7	8	9	10	（前月差）
合計		**41.1**	**41.4**	**48.6**	**48.1**	**46.4**	**48.6**	＋2.2
家計動向関連		41.8	41.3	51.1	49.5	46.7	48.4	＋1.7
小売		39.3	38.4	50.0	42.0	45.7	49.1	＋3.4
飲食		50.0	45.8	45.8	54.2	40.0	41.7	＋1.7
サービス		43.8	45.3	56.8	64.6	52.1	50.0	▲2.1
企業動向関連		41.7	40.2	45.3	45.5	46.2	48.5	＋2.3
製造業		44.0	40.6	45.7	45.8	47.8	47.9	＋0.1
非製造業		34.4	38.9	44.4	44.4	42.5	50.0	＋7.5
雇用関連		36.4	45.5	47.7	50.0	45.5	50.0	＋4.5

○回答別構成比

	年	R8						
	月	5	6	7	8	9	10	（前月差）
良くなっている		1.1%	1.1%	3.3%	5.6%	4.4%	1.1%	▲3.3
やや良くなっている		13.3%	11.1%	23.3%	11.1%	16.7%	17.8%	＋1.1
変わらない		37.8%	44.4%	42.2%	57.8%	46.7%	57.8%	＋11.1
やや悪くなっている		44.4%	38.9%	26.7%	21.1%	24.4%	21.1%	▲3.3
悪くなっている		3.3%	4.4%	4.4%	4.4%	7.8%	2.2%	▲5.6

2．景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

（DI）	年	R8						
	月	5	6	7	8	9	10	（前月差）
合計		**38.3**	**45.0**	**45.3**	**47.2**	**44.4**	**47.8**	＋3.4
家計動向関連		39.7	45.1	47.9	46.7	45.1	48.4	＋3.3
小売		38.4	43.8	45.8	47.3	46.6	50.9	＋4.3
飲食		37.5	41.7	41.7	29.2	30.0	50.0	＋20.0
サービス		43.8	50.0	56.8	54.2	47.9	41.7	▲6.2
企業動向関連		36.4	43.9	43.0	46.2	44.7	47.7	＋3.0
製造業		38.0	42.7	42.4	47.9	44.6	45.8	＋1.2
非製造業		31.3	47.2	44.4	41.7	45.0	52.8	＋7.8
雇用関連		38.6	47.7	40.9	52.3	40.9	45.5	＋4.6

○回答別構成比

	年	R8						
	月	5	6	7	8	9	10	（前月差）
良くなる		1.1%	2.2%	2.2%	2.2%	2.2%	1.1%	▲1.1
やや良くなる		14.4%	16.7%	13.3%	16.7%	13.3%	15.6%	＋2.2
変わらない		28.9%	44.4%	52.2%	56.7%	52.2%	58.9%	＋6.7
やや悪くなる		47.8%	32.2%	27.8%	16.7%	24.4%	22.2%	▲2.2
悪くなる		7.8%	4.4%	4.4%	7.8%	7.8%	2.2%	▲5.6

３．判断理由

（１）景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなっている	家計動向	嶺南	商店街	秋商戦の本格化に加え、旅行や各種イベント需要の増加を背景に来街者数が増加している。県外からの来訪者もみられ、消費動向は底堅く推移している。
		福井	一般小売店	家具については、季節需要の高まりを背景に販売が堅調に推移している。
		福井	百貨店、SC等	衣料品の動きが活発化しており、バッグ、靴、アクセサリーなど服飾雑貨の販売も好調である。また、気温の低下に伴い寝具関連商品の需要も増加している
		奥越	飲食関連	秋の行楽シーズンを迎え、人出の増加に伴い来店客数が増加している
		嶺南	観光関係	天候に恵まれたこともあり、観光客の入り込みは概ね堅調に推移している。比較的利用しやすい価格帯の商品・サービスへの需要が底堅い。
	企業動向	福井	銀行等金融関連	金利上昇を背景に、定期預金への関心が高まっており、申込件数は増加傾向にある。
③変わらない	家計動向	福井	百貨店、SC等	季節需要や催事による売上の変動はみられるものの、消費者の購買意欲に大きな改善はみられない。
		丹南	百貨店、SC等	売上高や買上客数、販売単価などの営業指標は堅調に推移している。
		福井	スーパー	物価上昇の影響により、消費はやや低調に推移している。
		坂井	スーパー	食品価格の上昇を背景に生活防衛意識は高いものの、季節商品の販売は堅調であり、景気は緩やかな回復基調にある。
		福井	コンビニエンスストア	消費喚起策や販促企画の効果により、販売は堅調に推移している。
		奥越	観光物産関係	物価上昇を背景に買い控えがみられ、販売数量は減少している。
		福井	観光関係	観光・イベント需要の増加により来訪者は増加している一方、原材料費や光熱費の上昇が経営負担となっている。
	企業動向	福井	一般機械関連	北米向けを中心に、商談・受注は高水準を維持している。
		福井	一般機械関連	北米・欧州向けを中心に輸出需要が回復しており、受注が増加している。
		丹南	電気機械関連	コスト上昇は続いているものの、売上は想定を上回って推移している。
		嶺南	その他製造関連	昨年と比べ、公共工事・民間工事ともに減少している。
	雇用	丹南	自治体労働政策担当課	夏以降、市内企業の中東情勢の影響は落ち着いてきており、生産活動への悪影響はあまり見られない。また7月から市内で始まった商品券発行事業は、一定の経済効果は見込めるものの、地域経済の好循環を生むまでには至っていない。
④やや悪くなっている	家計動向	嶺南	一般小売店	物価高騰が続く中、消費者の購買意欲は低調な状況が続いている。
		福井	百貨店、SC等	日常使いの商品は販売が伸び悩んでいる。
		福井	百貨店、SC等	食料品は堅調に推移しており、季節商品や菓子類の販売も好調である。
		福井	観光関係	物価上昇を背景に、旅行や娯楽への支出を抑える傾向がみられる。
	企業動向	福井	化学・プラスチック関連	物価上昇や金利上昇の影響が事業活動に及んでいる。
		福井	商社	灯油の供給不足により販売へ影響が生じている。
		福井	建設・不動産関連	個人による宅地購入は減少傾向にある。
⑤悪くなっている	家計動向	福井	飲食関連	10月以降、平日の来店客数が減少している。
	企業動向	福井	繊維関連	受注件数が減少している。

（２）景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなっている	家計動向	嶺南	商店街	年末商戦に向けた販促イベントの実施により、消費喚起が期待される。
		福井	百貨店、SC等	年末商戦や冬物需要の本格化に加え、プレミアム商品券利用による消費拡大が期待される。
		奥越	観光物産関係	冬季需要の高まりにより、羊羹など土産物の販売増加が期待される。
	雇用	嶺南	就職情報誌	北陸新幹線開業効果の継続により、地域経済への好影響が期待される。
③変わらない	家計動向	福井	百貨店、SC等	プレミアム商品券事業の効果により、一定の需要喚起が期待される。
		福井	百貨店、SC等	秋冬物需要やプレミアム商品券の利用拡大により、売上は堅調に推移すると見込んでいる。
		福井	百貨店、SC等	商品券事業の効果に加え、食品需要は底堅く推移している。
		丹南	百貨店、SC等	物価高等を背景に、消費者の節約志向は引き続き強い。
		福井	コンビニエンスストア	県の消費喚起策の効果により、販売は堅調に推移している。
		福井	飲食関連	越前ガニ解禁による集客効果を期待している。
		奥越	飲食関連	秋のイベント開催による集客効果が見込まれる。
		嶺南	観光関係	先行予約や団体客の予約は堅調に推移している。
		福井	観光関係	問い合わせ件数は概ね前年並みで推移している。
	企業動向	福井	一般機械関連	工作機械関連の受注環境は高水準を維持している。
		福井	一般機械関連	北米・欧州向けを中心に輸出需要の回復がみられ、受注は堅調に推移している
		奥越	電気機械関連	受注数量は横ばいで推移している。
		丹南	電気機械関連	市場環境の変動はあるものの、全体としては横ばいで推移している。
		福井	化学・プラスチック関連	原材料価格は高止まりの状況が続いている。
		嶺南	商社	物価上昇と個人消費の動向が均衡している。
		福井	建設・不動産関連	金利動向を注視する必要はあるものの、当面は現状水準で推移するとみている。
④やや悪くなっている	家計動向	福井	一般小売店	家具価格の上昇を受け、消費者の購入姿勢は慎重になっている。
		嶺南	一般小売店	物価上昇の継続が見込まれ、消費への影響が懸念される。
		福井	観光関係	物価高による旅行費用の上昇が需要に影響している。
	企業動向	坂井	繊維関連	資材価格の上昇が続く中、販売価格への十分な転嫁が難しい状況にある。
		福井	眼鏡関連	原材料価格の上昇が続く一方、価格転嫁が進まず収益を圧迫している。
	雇用	福井	ジョブカフェ担当者	人材流出や価格転嫁の遅れによる景気への影響が懸念される。
⑤悪くなっている	家計動向	福井	観光関係	冬季の閑散期を迎え、県外からの来訪者減少に伴い人流の減少が見込まれるため。

４．参　考

（１）調査対象の構成

調査対象			人数
家計動向関連			52
	商店街、小売店		
		商店街関係者	5
		小売店経営者・従業員	7
	百貨店、SC等		
		店長・売場主任	10
	スーパー		
		店長・従業員	5
	家電販売店		
		経営者・店長・従業員	2
	コンビニエンスストア		
		店長・従業員	2
	観光物産関係		
		売場責任者	3
	飲食関連		
		レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
		居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
	その他サービス関連		
		サービス業経営者・従業員	4
	観光関係		
		旅館関係者	2
		ビジネスホテル関係者	2
		観光・レジャー施設関係者	1
		旅行代理店経営者・従業員等	2
		タクシー運転手	1
企業動向関連			36
	製造業経営者・従業員		
		繊維工業	4
		眼鏡工業	3
		一般機械工業	3
		電気機械工業	3
		化学・プラスチック工業	3
		鉄鋼業	2
		伝統工芸	2
		商社	2
		食料品製造業	2
		その他製造関連	2
	非製造業経営者・従業員		
		IT関連	2
		金融機関	2
		建設・不動産	3
		運輸	3
雇用関連			12
		自治体労働政策担当課	2
		労働相談員	2
		学校就職担当者	3
		ジョブステーション担当者	2
		人材派遣会社	1
		就職情報誌編集者	2
計			100

４．参　考

（２）調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、
あなたの身の回りの景気の状況についてご回答ください。

（企業・団体名および役職等）

（記入者氏名）

【質問１】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。 **今月のあなたの身の回りの景気は、３か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。** **次の５つの中から、お選びください。**
①良くなっている　②やや良くなっている　③変わらない ④やや悪くなっている　⑤悪くなっている

【質問２】

質問１でそのように回答した理由を教えてください。
自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

【質問３】

将来の景気についての質問です。今後２～３か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。 **次の５つの中から、お選びください。**
①良くなる　②やや良くなる　③変わらない　④やや悪くなる　⑤悪くなる

【質問４】

質問３でそのように回答した理由を教えてください。
自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手３丁目17－1
福井県 産業労働部 政策推進グループ
TEL　０７７６－２０－０３６４　（ダイヤルイン）